

しゃぼん玉

No.439

2021 ねん

9がつごう

にしのみやしりつとしょかん

9月2日は「9」「2」の日。わたしたちがまいにちはいているくつ。くつがなかったら足のうらがあつかったりつめたかったり、けがをしたりしてこまるよね。そんなわたしたちの生活にかかせないくつの本をしょうかいするよ。

「てくてく たったか! くつ

どうやってできるの?ものづくり絵本

シリーズ」

多田紘/監修 ひさかたチャイルド

E2 トウ

ずっとむかし、人間はみんなはだしだった。足をまもるために生まれたのがくつ。

みんなもはいているスニーカーが、工場でどんなふうにつくられているのか見てみよう。



「むかでのいしゃむかえ」

飯野和好/文 福音館書店 E1 ムカ

むかし、虫たちがあつまっていたら、ばったがはらいたでくるしみでした。そこで、だれがいちばん早くいしゃをよびにいけるかかんがえて足がたくさんあるむかで行くことになった。



「くつかくしたの、だあれ?」

山本悦子/作 大島妙子/絵 童心社

931 ヤマ

休み時間はみんなと外で元気にあそぶかなちゃん。ほいくえんのあるころのように2人であそびたいユキは、かなちゃんのくつをかくしてしまう。



くつの本

「王さまとよごれた足」

サリー・ポム・クレイトン/文

ライアノン・サンダーソン/絵

青山南/訳 光村教育図書 E4 サン

川でからだをあらっても、すぐに足が土でよごれてしまうことにおこった王さま。国じゅうのよごれをとるようにめしつかいにめいじたが…。



「くつなおしの店」

アリスン・アトリー/著 松野正子/訳

福音館書店 932 アト

ニコラスじいさんが作った小さい小さいくつに、まごのトビーが〈妖精にぴったり〉と書いたカードをつけて店の窓にぶらさげると…。





あたらしい

えほん

「おうちジャングル」

ももろ／作 講談社 E 3 モモ

あるあさ、あめのおとでめがさめると…あかりちゃんのおうちのまわりがジャングルになっていた。リビングにはびしょびしょのどうぶつたちがあまやどりにきている。ぬれたままではかぜをひいちゃう。あかりちゃんがドライヤーをむけると、みんなびっくり！



えほん

「お月さんのシャーベット」

ペク・ヒナ／作 長谷川義史／訳
ブロンズ新社 E 4 へク

あつくてあつくて、ねぐるしいなつのばん。あまりにもあつすぎてお月さんがとけだした。おばあちゃんがおおきなたらいにお月さんのしずくをあつめて、あまいシャーベットをつかった。それをたべたら、あついのがすーっととんでいった。するとそこへ月のうさぎさんがやってきて…



よみもの

「あおぞらこども食堂 はじまります！」

いとうみく／作 丸山ゆき／絵 ポプラ社

9 3 1 イト

ハルさんは大のくいしんぼう。てづくりのけんちんじるをスープジャーに入れ、たきあがったごはんをおにぎりにして公園までおでかけ。ベンチでごはんを食べようとしたら、ハルさんのだいすきなお店のパンをもった女の子がちかくにやってきた。



よみもの

「ベサニーと屋根裏の秘密」

ジャック・メギット・フィリップス／著
イザベル・フォラス／絵 橋本恵／訳
静山社 9 3 2 メキ

ほんとは年寄りなのに、若者にしか見えないエビニーザー。屋根裏にすむビーストから不老薬をもらうかわりに、彼が食べたものをなんでも用意してきた。次は人間の子どもを食べたいと言われ、子どもを探しに孤児院に行ったエビニーザーは、ベサニーという女の子を連れて帰ることにした。



本のコーナー



えほん

「空とぶ馬と七人のきょうだい」

モンゴルの北斗七星のおはなし」

イチンノロブ・ガンバートル／文

バーサンスレン・ボロルマー／絵

津田紀子／訳 廣済堂あかつき E 4 ホロ

むかし空にまだ星がなかった頃、モンゴルの草原に王さまと7人の王女がくらし
ていた。王女たちのうつくしきはやみに
光をともしほだだった。
ある夜、鳥の王ハンガリ
ドは地上にかがやくもの
を見つけた。「なんとうつ
くしいむすめたちだ。わ
しの家につれていこう」。



えほん

「ナキウサギの山」

本田哲也／作 偕成社 E 2 ナキ

なつのはじめ、ぼくはナキウサギにあい
たくて、北海道の山の中にあるみずうみの
ほとりにやってきた。はじめてあったのは
12さいのとき。「ピチッ、ピチッ」とこ
とりのさえずりのよう
にきこえるのがナキウ
サギのこえだ。50ね
んぶりのであいにうき
うきする。



よみもの

「森の歌が聞こえる」

小手鞠るい／著 平澤朋子／絵 光村図書出版

9 3 1 コテ

小学3年生になる前の春休み、風花は
公園で倒れかかっている桜の木を見た。枝
という枝に花を咲かせたその木を見なが
ら、家に飾られている1枚の絵を思い出
した。それは、ママの妹のあかりちゃんが描
いた絵だ。夏休み、風花
とママはあかりちゃんの
すむアメリカへ遊びにい
くことになった。



よみもの

「わたし、パリにいったの」

たかどのほうこ／著 のら書店

9 3 1 タカ

はなちゃんといもうとのめめちゃん
は、パリにいったときのアルバムをみる
のがだいすき。なんかいみても、ちっとも
あきない。めめちゃんは、まだうまれてい
なかったのに、パリのことをよくおぼえ
ている。はなちゃんが
おしえてあげたこと、
ぜんぶおぼえちゃった
のかな。





「命の境界線」

ほご くじょ しか
保護されるシカと駆除される鹿

今西乃子／著 浜田一男／写真

合同出版 489

さいきん やせいどうぶつ まち あらわ こと ぶ
最近、野生動物が町に現れる事が増えて
いる。「駆除されるなんてかわいそう」と、ペ
ットとおな せつ かた をしていると大きなしっ
ぺ返しがある。奈良公園のシ
カと滋賀県の二ホンジカを通
して、人間と野生動物が本来
たも 保つべき境界線の大切さにつ
いて考えよう。



「イラストでわかる

オノマトペじてん

ぎあんご ぎたいごだいしゅうごう
擬音語・擬態語大集合!

小野正弘／監修 成美堂出版 81

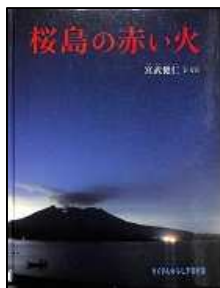
オノマトペとは、何かの音や生き物の
声をまねしたものや気持ちやようすを、
音の感じで言い表したものだよ。その
土地独自の方言のオノマトペもあるんだ
って。「つるつる」「ぎが
ぎが」「ひゃんひゃん」な
ど…。どんな意味かわか
るかな？



「桜島の赤い火」

宮武健仁／文・写真 福音館書店 45

ちゅうがくせい ころ か かざん え
中学生の頃に買った火山の絵はがき。そ
の闇に赤く光る火口が撮りたくてカメラマ
ンになったぼくは、桜島へやってきた。噴き
出す真っ赤な火、赤く染まる山の斜面、おな
かの皮がふるえるような衝撃波、
火にまきつく稲妻…。ぼくはすっ
かり桜島のとりこになった。

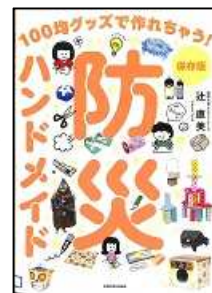


「防災ハンドメイド

100均グッズで作れちゃう!

辻直美／著 KADOKAWA 36

しゅうちゅうこうう じしん
集中豪雨や地震など、いつどこで
災害が起こるかはだれにもわからない。
そんなとき必要なのが防災グッズ。ペッ
トボトルのシャワーやツナ
缶のキャンドルなど、身近
な材料で防災グッズが作れ
ちゃう。楽しく作っていざ
というときに備えよう!



おはなし会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、しばらくのあいだ中止します。

各館・問合せ先



- ◆中央図書館 0798-33-0189
- ◆北部図書館 0797-61-1706
- ◆鳴尾図書館 0798-45-5003
- ◆北口図書館 0798-69-3151

